



## ケロンの小さな村に新しい学びの場 「とがのきハウス」がオープン



「とがのきハウス」までの道ばたに、園児がモミジの苗を植えた。

完成を記念して行われた「ハッピーバード」によるオカリナコンサート



崎山の上乗秀雄さんが中斉地内の休耕地に開いた自然体験施設「ケロンの小さな村」に、ツリーハウスが完成しました。11月10日に開かれた完成式には、地元の柳田、上町保育所の園児をはじめ、関係者など約50人が参加し、くす玉を割って完成を祝いました。

ツリーハウスに使われているのは、推定樹齢100年で高さ30mほどのツガの木です。地上3mの高さに床を設けられていて、自然学習の場「ケロン子ども森の学校」の中心施設として活用されます。

和歌では梅の木は、「次々に」という言葉の枕詞として使われています。子どもたちが自然に触れ、世代を超えて引き継がれる場所になることを願って「とがのきハウス」と命名されました。周辺には紅葉の名所をめざして、園児によってモミジの苗が植えられました。

## 鵜川いどり祭 ユーモア交え来年の豊作誓う



県の無形民俗文化財に指定されている鵜川の「いどり祭」は11月7日、菅原神社で行われました。鵜川周辺の「名」呼ばれる地域単位が集まって餅を作り、ユーモラスにけなし合って翌年の豊作を誓います。

祭りの進行は主賓の「伝兵衛」さんに伺いを立てながら進行します。小餅の見定めにつき、直径1.2mの大鏡餅が持ち上げられました。「薄い」「シワだらけだ」などと参加者がけちをつけると、そのたびに見学者から笑い声が起こりました。当番は毎年2地域で持ち回られていて、来年は小垣の「脇名」と鵜川の「黒御子名」が餅作りを担当します。黒御子名とは、鵜川の伝兵衛さんの家を指します。

大鏡餅を持ち笑いを誘う、「伝兵衛」こと広田豊さん

